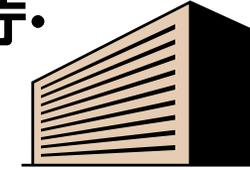


気象キャスターネットワークの役割



大学・研究所(気象研究所・
国立環境研究所など)

国・自治体(国交省・気象庁・
環境省、都道府県など)



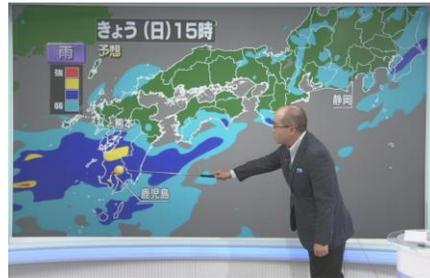
研究機関

公的機関



テレビ・ラジオなど
放送機関

小・中学校など
教育機関



イベント・講座など



気象キャスターは、難しい話をわかりやすく伝えるプロ。
気象・環境・防災に関する
専門家と、市民の「橋渡し役」として活動

気象キャスターネットワークの活動

小学校での出前授業



親子向けイベント



講演会・企業研修



気象キャスター研修会



動画配信



気象・生活情報の提供

熱中症予防情報 ~あなたの街の危険度手配

制作：気象キャスターネットワーク

地点を選択 場所を選択

北海道 | 東北 | 北陸 | 関東甲信
東海 | 近畿 | 中国 | 四国
九州 | 沖縄・奄美 | 全国マップ

- 東京圏心、練馬、江戸川、府中、青柳、八王子、大島、八丈島
- 横浜、海老名、小田原、藤沢
- 千葉、船橋、市川、佐倉、茂原、我孫子、木更津、鎌倉
- さいたま、所沢、越谷、久喜、熊谷、鳩山、林元
- 前橋、藤原、桐生、沼田、草津
- 宇都宮、小山、大田原、美日光
- 水戸、つくば、日立、古河
- 甲府、水戸、沼田、群馬

さよならの予想

「気候変動2025」動画を弊社気象キャスターが担当

日本の気候変動2025

「日本の気候変動2020」の後継として、より充実した内容の「日本の気候変動2025」を2025年3月26日に公表しました。

(2025.6.17) 本編及び詳細編の一部に誤りがあったため、修正しました。修正箇所は正誤表をご覧ください。現在掲載している報告書(PDF版及びHTML版)は修正済みです。

概要版 ／まずはこちらから／	本編 ／基本を網羅／	詳細編 ／より詳しく／
 PDF版 English(PDF) PPT版	 HTML版 PDF版 正誤表(PDF)	 PDF版 PDF版章別 正誤表(PDF)

都道府県別リーフレット	解説動画	素材集
 PDF形式	 動画形式	 素材集

地球温暖化と将来予測



気象庁/知識・解説
チャンネル登録者数 4870人

登録 共有

「日本の気候変動2025」の解説動画「気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人...」

地球温暖化
将来予測

気象キャスター 松葉

気象庁 苗田

見る YouTube の上昇による気候への影響を解説!!

日本語字幕・手話通訳付きの動画はこちら (YouTube)

気温



「日本の気候変動2025」の解説動画「気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人...」

登録 共有

気象キャスター 敷波

気象庁 南

「気象庁」×「気象キャスターネットワーク」 勉強会

The screenshot shows a Zoom meeting interface. The main window displays a presentation slide from the Japan Meteorological Agency (気象庁) titled "海面水位、高潮・高波【観測結果】" (Sea Level, Storm Surge, High Wave [Observation Results]).

海面水位、高潮・高波【観測結果】

- **平均海面水位**：日本沿岸では、長周期的の変動（自然変動と考えられる）が明瞭であるが、1980年代以降は上昇傾向。
- **高潮**：日本沿岸における発生数や大きさには、長期変化傾向は見られない。
➢ 台風の上陸数・強度、港湾構造物による地形変化等でも変化するため、評価が難しい。
- **高波**：日本周辺における高波の波高に上昇傾向が報告されている。
➢ ただし、地球温暖化によるものか自然変動に由来するものかについて見解の一致は得られていない。

【参考】世界平均海面水位上昇の主な原因

- 海水の熱膨張
- 陸水（氷床・氷河）の融解

全米4地点又は16地点の日本沿岸の海面水位の推移（1906～2024年）

○：日本沿岸4地点の平均水位、—：その年移動平均値
△：その4地点を合計し総計16地点の平均水位、—：その5年移動平均値
※ いずれも観測の目録表の左側（1991～2020年の平均値の意）

—：世界平均水位
※ 総務省国土政策局の公表（1991～2020年の平均値の意）
※ 気象庁気象研究所（気研）気候科学センターの気候変動情報

The slide also features a line graph showing sea level rise from 1900 to 2020. The graph plots sea level change (m) on the y-axis (from -100 to 160) against year on the x-axis (from 1900 to 2020). It shows four data series: Japan's 4 coastal points (circles), total 16 points (triangles), world average (dashed line), and Japan's 16 points (asterisks). The world average shows a steady upward trend, while the Japan-specific data shows more variability with a clear upward trend starting in the 1980s.

Zoom meeting participants visible in the top bar include Saki Ohkubo, 井田 真子, 水越 祐一, and 気象キャスターネットワーク. The bottom bar shows meeting controls like audio, video, and chat.